



慶應義塾

新型コロナウイルス感染症拡大に ともなう取り組み

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大について、慶應義塾における対応、また塾生への緊急支援や慶應義塾大学病院での取り組みについてここで報告いたします。(2020年5月22日時点)

【重要なお知らせ】新型コロナウイルス感染症について(本学の対応まとめ)

URL <https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/2/5/27-67413/>



※以下の報告内容も、上記Webサイト内にリンクされています。

「新型コロナウイルス感染症対策本部」の設置

2020年2月4日付で学内に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しました(本部長:長谷山塾長、本部長代理:大石常任理事)。学内の関連部門が連携し、新型コロナウイルス感染症に関する情報収集・集約を行うとともに、塾生、教職員、受験生等に向けて、感染予防のための注意喚起や、その他必要な措置を決定し、慶應義塾 Web サイト等において周知を行うことを目的としています。

(2020年2月5日)

式典等の対応

3月23日、26日に挙行を予定していた2019年度大学学部卒業式、大学院学位授与式については残念ながら中止とし、代わりに動画配信を行いました。また、4月1日、3日に挙行を予定していた2020年度大学学部入学式、大学院入学式については延期とし、9月入学式(学部・大学院)に、4月入学者も参加する形で開催することを検討しています。

2019年度学部学位記授与式(塾長式辞全文、アーカイブ動画)(2020/3/25)

URL <https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/3/25/27-68225/>

2019年度大学院学位記授与式(塾長式辞全文、アーカイブ動画)(2020/4/3)

URL <https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/4/3/27-69163/>

学生生活

感染予防に関する注意喚起

中国国内での感染が拡大していた1月31日の時点から、塾生・教職員向けの感染予防に関する注意喚起を開始しました。「新型コロナウイルス関連肺炎について（第1報）」として中国への渡航予定がある場合は渡航の中止・延期を呼びかけ、また感染が確認された場合の報告について案内し、その後も状況の変化に応じて案内内容の更新を行いました。

保健管理センターでは、新型コロナウイルス感染症についてのWebサイトを開設し、感染が疑われる・罹患した場合の対応方法についての案内を掲載しました。また、よくあるお問い合わせをQ&Aとして整理し随時更新したほか、厚生労働省等が発表した新型コロナウイルス感染症に関する情報、感染予防情報をまとめ、塾生や教職員向けの情報提供を行いました。

【塾生・教職員対象】新型コロナウイルス感染症について（第4報）(2020/2/26)

URL <https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/2/26/27-67673/>

保健管理センター 新型コロナウイルス感染症について

URL <http://www.hcc.keio.ac.jp/ja/infection/coronavirus.html>

学内施設の閉鎖

慶應義塾では、教育・研究・医療活動の継続を図りつつ、塾生、教職員、関係者の健康と安全を守り、感染拡大の防止を最優先に考え、4月3日の時点で、独自の緊急対応策として、4月7日から4月20日までの各キャンパスおよび学内施設の閉鎖（信濃町キャンパス・慶應義塾大学病院を除く）を発表しました。その後の政府による「緊急事態宣言」の発出と延長を受けて、当面の間その措置を延長するとともに、春学期中はオンラインを活用した授業を実施することを決定しました。

「緊急事態宣言」にともなう学内施設の閉鎖期間の変更について（第2報）(2020/4/28)

URL <https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/4/28/27-69620/>

学生支援

4月30日から、各学部・研究科において、オンラインを活用した授業が始められました。教育・研究・医療の水準を守り、塾生が安心して学問に専念できる環境を整えるとともに、すべての塾生が一人も取り残されることなく、学問に芸術にスポーツに積極的に取り組むことができるよう、あらゆる支援策を講じていきます。

オンライン授業の質を高めるべく、施設・設備・情報システム環境の整備に義塾の人的・経済的資源を投入するとともに、経済的理由でオンライン授業受講開始に必要な通信環境の整備が困難な塾生に対して、15,000円の補助金を支給することを決定しました。

「経済的に困難な塾生を対象とするオンライン授業受講開始支援補助制度」への申請について（2020/4/24）

URL <https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/support-online-application.html>

また、家計急変、あるいはアルバイト収入の減少などによって経済状況が悪化した塾生に対しては、義塾が独自に備える総額約 240 億円の奨学基金を積極的に活用し、加えて、緊急に奨学金枠を 5 億円程度増額し、一人あたり最大 40 万円の経済支援を行うことを決定しました。

慶應義塾大学修学支援奨学金 2020 年度（春）募集の開始について（2020/5/8）

（例年より規模を大幅に拡大して奨学生を採用。最大年額 40 万円、採用人数約 1,300 名を予定）

URL <https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/degreecompletion2020s.html>

経済的な支援だけでなく、さまざまな障害を抱える塾生へのサポートや、カウンセラーによる電話相談も行っています。

障害のある学生のための「情報保障サポートデスク」の設置について（2020/4/20）

URL <https://www.diversity.keio.ac.jp/news/2020/04/post-5.html>

学生相談室（電話相談）（2020/5/1）

URL <https://www.students.keio.ac.jp/com/life/consult/counseling-room.html>

学部入学試験

学部入学試験では、受験生に向けて感染予防に関する呼びかけや、新型コロナウイルス等へ感染した場合は受験を控えるよう注意喚起を行いました。また、受験会場にはアルコール消毒液を設置する等、学内での感染対策も実施しました。

（2020年2月5日）

医学部・慶應義塾大学病院の取り組み

大学病院では、他院からの入院患者を発端とした院内感染等が起きましたが、適切な対応を行い収束しました。入院前 PCR 検査や院内のゾーニングを行う等の感染防止策を講じ、複数の診療科により結成された COVID-19 救命チームを中心とする体制を整えて診療にあたっています。新規の入院、外来診療は一時的に制限することとなりましたが、段階的に再開しています。また、医学部基礎研究部門では、COVID-19 研究チームを結成し、ウイルスの遺伝子解析による詳細な疫学調査などの研究に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症に関する当院の状況について（2020/4/21、5/1）

URL <http://www.hosp.keio.ac.jp/oshirase/important/detail/40185/>

【診療情報】入院・外来診療について（2020/4/30）

URL <http://www.hosp.keio.ac.jp/oshirase/important/detail/40110/>

緊急支援（ご寄付）の募集

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、塾員をはじめとする方々より慶應義塾へのあたたかいご支援のお申し出をいただいております。ご厚志を速やかに学生や医療現場へお届けするべく、寄付のお申し込みページを開設しました。

いただいたご寄付は、経済的理由により修学困難となった学生の支援や、新型コロナウイルス感染症に対する医療体制強化のために使わせていただきます。

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急支援のお願い（2020/5/13）

URL <https://kikin.keio.ac.jp/news/support-covid19/>

医学部学生有志が「医学生への感染予防指針」を作成

大木将平君（医学部6年）ら慶應義塾大学医学部学生有志が「医学生への感染予防指針」を作成し、インターネット上にて公開しました（5月22日現在、第2版「医療系学生の感染予防指針」として公開されています）。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、多くの大学の医学部では臨床実習を予定通り行うことができていません。このまま医学生が適切な教育を受けられなければ、近い将来、医師の質の低下や、必要な医師数が確保できない事態を招く危険性があります。

こうした現状に危機感を抱いた大木君らは国立感染症研究所の資料や海外の研究などをもとに臨床実習を行う上での指針を作成し、感染症専門医らの監修を受け公開しました。

指針には市中感染が広がる中で実習や臨床に出ることを想定し、「（電子カルテなど）共有のものに触れる前後は手指衛生を必ず行う」「個人のペンやファイル、タブレットなどは感染管理ができない場合持ち込まない」など、実習の場面を具体的に想定した基本原則が示されています。

URL <https://medstudent.jp/>

共同研究グループ「コロナ制圧タスクフォース」発足

慶應義塾大学など8つの大学・研究機関は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が重症化するメカニズムを明らかにするべく、共同研究グループ「コロナ制圧タスクフォース」を立ち上げました。

この研究では、日本人の新型コロナウイルス感染症の人口当たりの死亡者数が欧米諸国に比べ圧倒的に少ない点に注目し、日本人における新型コロナウイルス感染症の重症感染者と軽症・無症候感染者を比較することで、新型コロナウイルス感染症が重症化するメカニズムの遺伝学的な基盤を明らかにすることを目指しています。こうして得られた知見は、新型コロナウイルス感染症の治療予測やワクチン開発に役立てられることが期待されます。

なお、慶應義塾大学医学部・慶應義塾大学病院では、これ以外にも COVID-19 対策の基礎・臨床研究が複数開始されており、これらを総称して「慶應ドンネルプロジェクト」と呼んでいます（ドンネルは初代医学部長・病院長である北里柴三郎の愛称に由来）。

URL <https://www.covid19-taskforce.jp/>